

２０１３年度
伝統文化体験
―春の南座―

日本語学科主催による「京都南座歌舞伎鑑賞教室」を開催します。
春の京都の風情を楽しみながら、伝統文化を味わいましょう。

行　　先 ： 京都四條南座（京都市東山区四条大橋東詰）
京阪四条駅すぐ、阪急河原町駅徒歩2分程度
日　　時 ： ４月２０日（土）午前 11 時から
（午前 10 時 30 分開場）
集合場所 ： 南座
費　　用 ： 無料　（ただし南座までの交通費は自費）
演　　目 ： １　解説　南座と歌舞伎　２　藤娘　供奴
そ の 他 ： 先着 40 名に限定します。
なお、当日のキャンセルはできません。
申込者は必ず出席してください。



☆申し込みについて
４月 18 日（木）12:30 から、日本語学科の共同研究室（６号館７階）で、
先着順に受け付けます。原則として本人が下記の申込書をご持参ください。

南座とは？

元和年間（1615～1623）京都四条河原町に公許された７つの櫓の伝統を今に伝える唯一の劇場です。四条通りをはさんだ７つのうち、明治を迎えたのは２座のみで、明治 26 年に北側芝居も廃座となり南座だけが現在地に残りました。

藤娘のみどころ

春の終わり頃、松の古木に絡んだ藤の花は満開を迎えています。ここに藤の花を手にした美しい娘が現れます。藤の精である娘は、浮気な男のつれなさを踊ります。藤の木に酒を注ぐと美しい花が咲くという言い伝えにちなんで、娘が酒に酔っていく様子を鮮やかに表現するところがみどころです。

供奴のみどころ

江戸吉原が舞台。主人のお供に遅れた奴が、大きな提灯を提げて勢いよく走り出てきます。奴は主人の姿を探しながら、主人の伊達男ぶりを自慢し、その姿を真似て得意げに踊ります。軽快な音楽と奴の動きが心地よい舞踊です。足拍子が一番のみどころです。

……切　り　取　り　線……

伝統文化体験申込書

伝統文化体験に申し込みます。

____年生　学籍番号_____氏名　_____